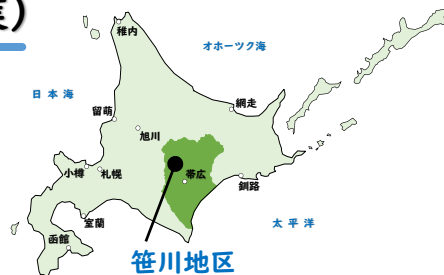


国営かんがい排水事業（直轄明渠排水事業）

さ さ が わ

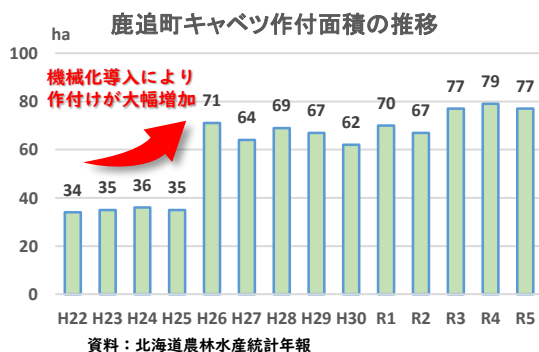
笹川地区



地域の概況

本地区は、北海道十勝管内の鹿追町に位置する畑作及び酪農地帯である。地域では、小麦、ばれいしょ、てんさい、小豆の畑作物に高収益作物であるキャベツを組み合わせた畑作経営、飼料作物（牧草、青刈りとうもろこし）を栽培し乳牛を飼育する酪農経営を展開している。

キャベツは、中食ニーズとして加工業務用野菜としての需要が高く、JA鹿追町では機械化一貫作業体系の構築（定植～収穫）、ICTを活用した全自動キャベツ収穫機の開発等による省力化を通じ生産拡大を進めている。生産されるキャベツは「日本ケンタッキーフライドチキン（株）」「（株）ローソン」他20社以上へ出荷され、作付面積はH22：34ha（道内7位）からR5：77ha（道内3位）へ増大している。



キャベツ出荷先企業の代表的商品



全自動キャベツ収穫機

地区の現状と課題

本地区では基幹的排水路が整備されておらず、現況排水系統は小明渠等による排水網で構成されているが、近年の降雨形態の変化により流出量が増加していることから、H24～R3までの10年間で3回の湛水が発生している。湛水発生時には、「ほ場の溝切り」「ポンプ排水」等の対応が行われており、多大な費用と労力を要している。

地区内では湛水被害が頻発する被災リスクの高い状況であることから、高収益作物であるキャベツの作付拡大が進められない状況にある。



ほ場の湛水状況(ばれいしょ)
平成28年8月31日撮影



農家レストラン周辺の湛水状況
平成28年8月31日撮影



溝切り、ポンプ排水状況
平成28年8月31日撮影

事業構想

◆事業目的

本事業で基幹的排水路の新設整備を行うことで、農地の湛水被害の解消を図り、農業生産性の向上と農業経営の安定化を図る。

◆整備構想

基幹的排水路1条の新設を行う。

【地域の現状】

- ・ 降雨量の変化
- ・ 降雨形態の変化
- ▼
- ・ 流出量の増加
- ▼
- ・ 流下能力不足
- ・ 湛水被害発生

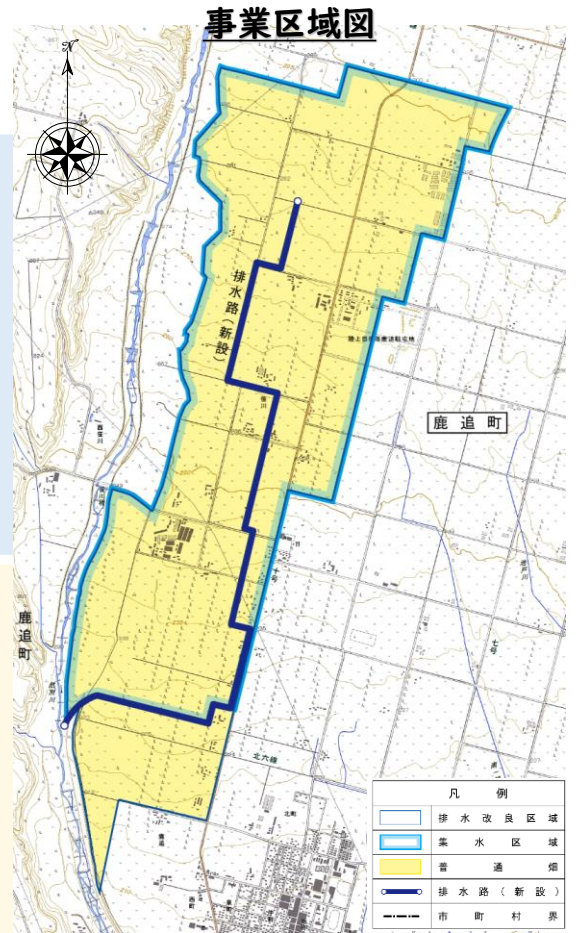


【基幹的排水路の整備】



排水路の整備イメージ

- ・ 湛水被害の解消
- ▼
- ・ 農業経営の安定化
- ・ 高度な地域生産体制の整備
- ・ 安全、高品質農産物の安定生産



事業計画概要

- 受益面積 : 611ha (畑)
- 関係市町 : 鹿追町
- 主要工事 : 排水路1条 6.3km (新設)
- 主要作物 : 小麦、小豆、ばれいしょ、てんさい、キャベツ、飼料作物



鹿追町のゆるキャラ
「くてくう」